

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、佐鳴台圏域） 第1回会議 議事録

開催日時	令和4年5月17日（火）9時30分から11時10分まで
参加者	委員：17人 事務局：6人 その他：9人（高齢者福祉課：2人、中区長寿保険課：2人、地域包括支援センター佐鳴台：3名、西部協働センターコミュニティ担当：1名、佐鳴台協働センターコミュニティ担当：1名）
場所	西部協働センター ホール
内容	<p>1, 開会</p> <p>2, 挨拶 佐鳴台圏域協議体 会長</p> <p>3, 協議内容</p> <p>① 令和3年度 協議体会議の振り返り 生活支援コーディネーターより、令和3年度の第1回、第2回協議体会議の振り返りを行った。</p> <p>② 城北地区社協 家事支援活動の状況について 市社協より、城北地区社協の家事支援活動の状況について紹介を行った。</p> <p>③ 地域の居場所づくりの紹介 市社協より、他地域で行われている居場所について、概要や内容を紹介した。</p> <p>④ グループワーク ※城北地区、佐鳴台地区と分かれグループワークを行った。</p> <p><城北></p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし高齢者は様々な困りごとを持っている。もっと身近な関係で助け合い活動ができるといい。 ・困りごとをつないでくれる民生委員やケアマネと日ごろから連携ができていい。民生委員として訪問する際に家事支援のチラシを持って行っているが、困りごとが結びつかないケースもある。 ・個別の課題をあげていても実際の活動にはつながらないため、社会資源を見える化し、できていること、できていないことを分析するべき。それらの土台の情報がないと、新しいものは生み出せないと思われる。 <p>○家事支援があっても困りごとにつながらないのか、そもそも必要性がないのか、そのほかの理由なのかなど分析は必要。</p> <p>○ニーズの聞き取りが必要。ニーズと現状ある社会資源を見える化し整理することを行う。今後、城北北・城北南民児協にて民生委員にニーズの聞き取りを行う。</p> <p>○包括佐鳴台では今後、家事支援スタッフとケアマネの交流会を企画。ケアマネと家事支援の理解が必要だと感じた。</p> <p><佐鳴台></p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠鉄ストアに椅子が設置されており、コロナ前はよく買い物帰りに来た人が利用をしていた。現在は椅子がすべて外向きになっている。 ・集会所があれば人は集まると思われる。しかし、管理が大変という面もあるため、難しいのではないかと。

	<p>→空き家を利用するという案もだが、佐鳴台では空き家は出るとすぐに更地になり、新しい家が建つ。そのため、空き家を利用ということは難しいかもしれない。</p> <p>→佐鳴台には繁栄会という商店街の集まりがあるため、既存のお店と協力ができないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在医療センターが工事中だが、地域住民が使える部屋ができれば、佐鳴台5丁目の方は利用しそう。 ・マンションの住民から、マンションの1階のフロントで集まりがあれば参加できるのに、という話を聞いたことがある。マンションによってはそのようなニーズが多いところもあるかもしれない。 ・県営住宅、2丁目、3丁目はそれぞれ集会所や協働センターが利用できる。1丁目、5丁目、6丁目がどこの集会所も遠く、集まりとして利用することが難しい。 <p>○今後、ベンチを公園や個人商店に設置するか、新しい建物としての居場所を創出するか、検討をしていく。</p> <p>○ベンチの設置について、他地域の様子について情報収集を行う。</p> <p>4, 事務連絡 特になし</p> <p>5, 閉会 佐鳴台圏域協議体副会長</p>
<p>今後の見通し等</p>	<p>実践活動への検討ということもあり、両地区活発に協議ができたと思う。今後も委員の発言を促進できるような関係づくりを進めていきたい。また、居場所の創出やニーズ調査についても実施できるように進めていく。</p>